

事務事業評価シート 平成 27 年度事後評価・決算

平成 29 年 2 月 22 日時点

事務事業名				所管課		農水産課		担当班	農業基盤整備班
24700 農業水利施設改修事業				会計		款	項	目	
				科目		6	1	5	
施策 体系	基本施策	1	農水産業の振興	根拠法令		土地改良法及び旭市補助金等交付規則・旭市農業用排水路改修事業補助金交付要綱			
	施策の展開	2	安定した農業経営の推進	戦略事業		17 農業水利施設改修事業			
	施策の展開			戦略事業					
						事業種別			
						☒ 主な事業		☐ 国土強靱化地域計画	
						☐ 新市建設計画		☐ 定住自立圏構想	
						☒ 主要事業			

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		・老朽化した農業用排水路の改修や施設の長寿命化に取り組む団体に対する補助金の支払い。旭市農業用排水路改修事業補助金交付要綱において、工作物による改修で農業用排水路改修事業のうち土地改良区で承認したものとし、補助率は事業費の20%以内とする。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
・老朽化した農業用排水路の改修や施設の長寿命化に対する地元負担の軽減のため		・震災により、被災は受けたが災害復旧事業の適用を受けられない事業のため、国が様々な補助事業を創設。 ・地元負担の軽減のため、市への更なる支援要望がある。	・地域排水路としての機能も有しているため、土地改良区や地元農業者から、行政にも応分の負担が求められている。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (27年度の決算)			単位: 千円										
1. 仁玉川改修事業負担金	15,715	基幹水利施設ストックマネジメント事業における市の負担分	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (予算)					
2. 用水施設改修事業負担金	4,142	地域農業水利施設ストックマネジメント事業における市の負担分	費目内訳	1. 仁玉川改修事業負担金	千円	6,576	0	7,830	15,715	18,900			
3. 農業用排水路工事補助金	1,008	農業者団体が行う農業用排水路改修に要した経費に対する補助		2. 用水施設改修事業負担金	千円	1,395	6,315	1,024	4,142	3,750			
	0			3. 農業用排水路工事補助金	千円	8,707	9,188	1,810	1,008	2,500			
	0				千円								
② 特定財源の内訳 (27年度の決算)			単位: 千円										
1. 国庫支出金	0		事業費計 (A)		千円	16,678	15,503	10,664	20,865	25,150			
2. 都道府県支出金	0		財源	1. 国庫支出金	千円								
3. 地方債	8,900	農業水利施設改修事業債		2. 都道府県支出金	千円								
4. その他	0			3. 地方債	千円	7,100	5,600	5,500	8,900	11,300			
				4. その他	千円								
				5. 一般財源	千円	9,578	9,903	5,164	11,965	13,850			
前年度増減理由	仁玉川改修及び大利根総バ地区における工事費増に伴う負担分増、農業用排水路工事箇所及び規模の減		従事職員数		常時	2人	最大	人	×	日	=	延べ	0人

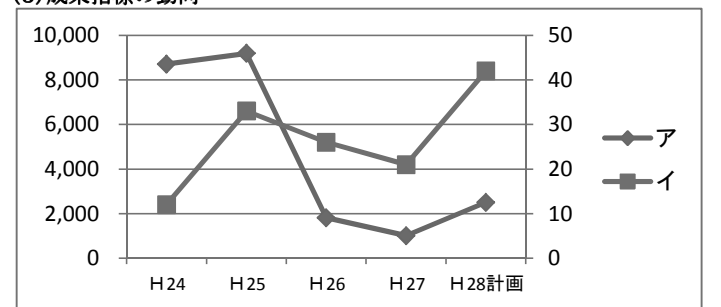
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)
	27年度実績 (27年度に行った主な活動)								
目的	補助金 14案件		ア 補助金交付件数	件	6	13	10	14	22
			イ						
目的	② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)
	対象 受益農業者								
意図	・事業費が大きくなりがちな水利施設改修事業に対し、補助金等により支援することで、地元農業者への負担額を軽減し、農業経営の安定を図る。		ア 地元農業者の負担軽減額 (補助金の額)	千円	8,707	9,188	1,810	1,008	2,500
	対象意図		イ 改修工事箇所	箇所	12	33	26	21	42

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	成果向上余地	評価結果	コスト比率
	かなりある		下位 1/3
	ある程度ある		中位 1/3
	ほとんどない		上位 1/3
大きい		①	
普通	⑤	②	
小さい		③	
		④⑤	(4)
		⑥	
		⑦⑧	
		⑨	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐完了☐順調☒概ね順調☐停滞☐実施困難													
	【コメント】 (停滞・実施困難の場合、その理由)														
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値減＝成果向上	☒ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	比較	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28計画		
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値減＝成果向上	☒ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	成果動向	ア	6,207	481	△ 7,378	△ 802	1,492			
						イ	3	21	△ 7	△ 5	21				
	③ 今年度取組事項 (今年度新たに取り組む事項について記載)	時期	内容			今後の方向性									
						☐ 拡大 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他 ()							
	適宜	補助金交付申請があれば、随時対応する			適宜	引き続き補助金交付申請に随時対応していく									